

CEF2024 分科会Ⅱ-①

■ 日時

◇ 2024年3月9日(土) 13時15分～15時(105分)

■ テーマ

◇ 「会社に行くのが嬉しい！自分の仕事が楽しい！」
～障がいのある従業員のワーク・エンゲージメントをさらに高めるために～

■ プログラムの概要

- ◇ 「ワーク・エンゲージメント」については、厚生労働省の令和元年版「労働経済白書」において、働く人の「働きがい」に関して、その概念を用いた詳細な分析、報告がなされている。特に産業界ではこの考え方の有用性が年々浸透しつつある中で、残念ながら障がいのある就労者のワーク・エンゲージメントにフォーカスした研究報告等はいまだにほとんど見当たらない
- ◇ 一方で雇用の現場では、事業主における「雇用の質の向上」の観点から、すでに障がいのある従業員の「働きがい」づくりのための様々な取り組みが展開されている
- ◇ 本分科会では、あらためて登壇各企業におけるそれらの取り組みをワーク・エンゲージメントのフレームワークで整理を行い、特徴的な事例の共有やディスカッションを通じて、そのねらいや効果、今後に向けた課題等を確認し、あわせて企業サイドとして就労支援関係者に求めたい「働きがい」づくりへの連携のあり方を考えてみたい

■ プログラムの目的

- ◇ 「雇用の質の向上」とは、つまるところ障がいのある従業員一人ひとりの“心からここで働き続けたいという内発的感情（≡ワーク・エンゲージメント）を高め続けること”に行きつくのではないかと、という仮説に立ち、以下についての解説、実践報告およびディスカッションを通じて、さらなる「働きがい」づくりの今後に向けた課題の確認や整理、参加者への提言を試みる
 - ① ワーク・エンゲージメントに関する基本的概念の確認
 - ワーク・エンゲージメントとは何か？その向上への取り組みが従業員や組織にもたらすものとは？など
 - ② 登壇各社における取り組み事例とその効果の実際
 - なぜそこまでやるのか？それによってどうしたかったのか？どうなったのか？今後の課題は？など
 - ③ 障がい者就労を支える皆さんに期待すること
 - ワーク・エンゲージメントの視点に立った障がい者雇用と就労支援の連携に期待することは？など

■ 話題提供者

網屋 裕二氏（第一生命チャレンジ株式会社 常務取締役）
大庭 薫氏（ソニー希望・光株式会社 代表取締役社長）
安彦 仁氏（株式会社 JR 東日本グリーンパートナーズ 代表取締役社長）

■ コーディネーター

中澤 尊史（株式会社舞浜コーポレーション 理事）

■ 内容と当日のながれ

目安時刻	内 容 (合計 105 分)	担当・発表者
13:15～	<u>イントロダクション (13 分)</u> テーマ設定の趣旨／ワーク・エンゲージメントの基本概念説明	中澤
13:27～	<u>4 社プレゼン (32 分 : 8 分/社×4)</u> 会社概要／特徴的な取り組み事例 & それらの目的、効果の紹介 など	登壇者
13:55～	<u>ディスカッション (55 分)</u> いくつかの論点を絞り、各社それぞれの思いや目的、今後に向けた課題、さらなる取り組みの方向性などについてディスカッションを行い、企業側として共通する“障がいのある従業員にとつての”ワーク・エンゲージメント向上のポイントを探る <u>まとめ・提言～終了挨拶 (5 分)</u> 障がい者就労を支える皆さんに期待すること など	登壇者
15:00	<u>終了</u>	

以上